
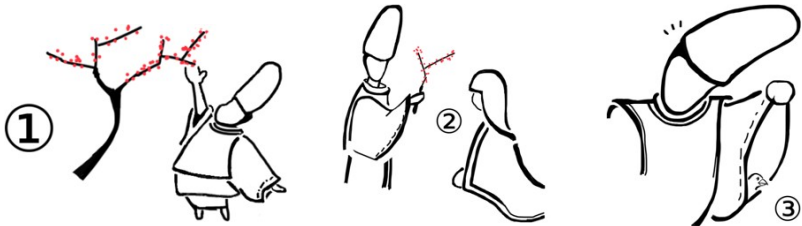
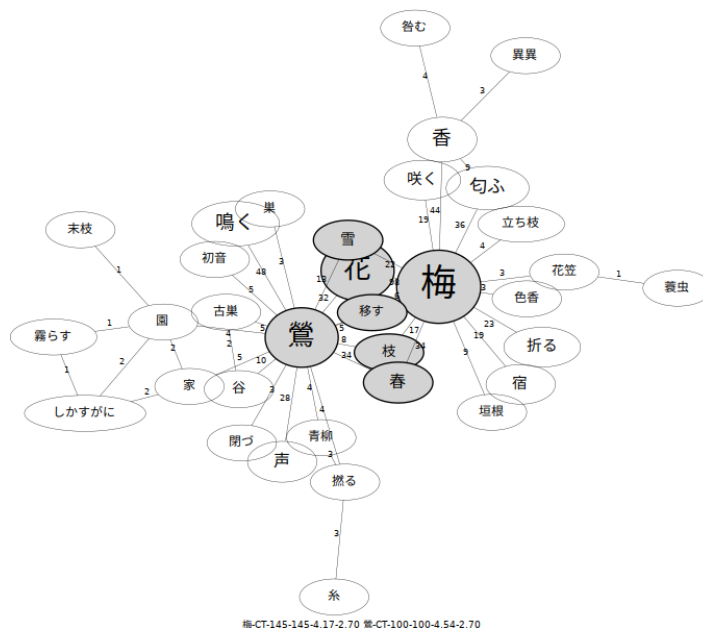


ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

研究機関名	東京工業大学		
プログラム名	目で見てわかる昔の日本語と今の日本語:タイムマシンに乗らずに行ける昔の世界		
先生(代表者)	山元 啓史 (やまもと ひろふみ) リベラルアーツ研究教育院・教授		
自己紹介	大学卒業から今までずっと外国人に対して日本語を教えてきました。教えているうちに「ことばはどんな形をしているのだろう」と思い、言語学を勉強しはじめました。いろいろなことばを知りたくって、アメリカとオーストラリアに留学しました。世界のことばと日本のことばを比較したり、昔のことばがどうして今の形になったかを調べたりするようになりました。ことばは誰もが使える楽しい宝物のように思います。さあ、みんなでことばについて話しましょう。		
開催日・募集対象	① 2024年8月1日(木) ② 2024年8月2日(金)	受講対象者	募集人数 ① 15名 ② 15名
集合場所・時間	東京工業大学 西1号館 W1-104 講義室	(集合時間)	9:50
開催会場	東京工業大学大岡山キャンパス 住所: 〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 西1号館 W1-104 教室 アクセスマップ URL: <a href="http://www.titech.ac.jp/maps/index.html">http://www.titech.ac.jp/maps/index.html</a>		
内 容			
<p>ことばは時代につれて変化します。私たちの知っていることばの意味は、昔の意味とはまったく同じではありません。もしタイムマシンに乗って昔の日本語が聞けたなら「あれえ～何か変だ！違うぞ？」と思うことでしょう。大昔の録音は残っていませんから、昔のことばがどうであったか、実際に聞いてみることはできません。しかし、昔の文章からことばの使われ方を図に描いてみることはできます。</p> <p>たとえば、古今和歌集(905年頃成立)にはこのような歌があります。</p> <p><b>折りつれば 袖こそにほへ 梅の花 有りとやここに うぐひすのなく</b> (古今集巻第一春歌上 32)</p> <p>今と違うひらがなの使い方や違うことばの使い方が見られます。私は、次の3枚の絵にしてみました。これでお話の内容がわかりやすくなりましたが、すべての絵を描くことはとてもできませんし、絵を見た人によって捉える意味や印象も変わるかもしれません。そこで、和歌をデータ化してコンピュータでネットワーク図を書いてみました。すると語と語の相互関係がわかるようになりました。</p>			
			



このように「目で見てわかる昔のことばの世界」についてみんなで一緒に勉強します。実習ではタブレットを使って、自分で図を描いて分析してみましょう。自分の図と他の参加者の図を比較して意見交換をしてみましょう。また、レポートとしてまとめる方法についても学びます。大学院生や元東工大生の発表も聞いて、それをまねして、参加者みんなで簡単な研究発表をしてみましょう。

持ち物	特記事項
筆記用具 ハンカチ 水筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスクの装着は自由です。</li> <li>・水分補給のためにご自身の飲み物は持参ください。</li> <li>・参加者同士の間隔をできるだけ広く保てるように座席と環境を用意しています。</li> </ul>
スケジュール	
9:50～10:00 受付：大岡山キャンパス西1号館 W1-104 教室 10:00～11:00 開講式：参加者自己紹介、日本学術振興会・科学研究費の説明(15分休憩)。 11:15～12:00 講義と実習：ことばの意味を図で見よう！ 12:00～13:00 ランチタイム：みんなで楽しく食べよう！ 13:00～13:25 実習：コンピュータで自分のネットワークを描こう(5分休憩)。 13:30～14:00 関数電卓を使って単語の重みを計算してみよう！ 14:00～14:30 講義：大学院生のことばについての研究内容を聞いてみよう！ 14:30～15:00 休憩：クッキータイム 15:00～16:00 お散歩：大学の建物・鳥人間コンテスト、マイスターの部室を訪問。 16:00～16:40 実習：みんなで意見交換、感想を発表しよう(5分休憩)。 16:45～17:00 修了式：「未来博士号授与」写真撮影 (小学生、中学生との同じスケジュールで行います)	

課題番号	24HT0050	分野	人文・その他	キーワード	通時言語、歴史言語学、和歌、古代語、現代語、比較、可視化、グラフ理論、集合論
------	----------	----	--------	-------	--

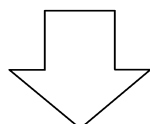
## 《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 山元啓史
住所	東京都目黒区大岡山2-12-1西1号館W1-104教室
TEL番号	03-3734-2324
E-mail	yamagen@ila.titech.ac.jp
申込締切日	2024年7月3日(水)

毎年多数の応募がございます。応募人数によっては申し込み締め切り日前に締め切ることもございますのでご了承ください。お申込みの際には日本語学術振興会申し込みフォームの「プログラムに期待すること」欄に参加の動機をお書きください。応募多数の場合には、記載された方から抽選とさせていただきます。楽しいコメントをお待ちしております。選考結果はプログラム実施日2週間前までにメールにて順次全員に連絡いたします。

## 《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2023年度 ~ 2025年度	基盤研究(C) (一般)	23K00545	歌ことばの歴史的変遷の特徴を解析するツール群とデータセットの開発
2018年度 ~ 2023年度	基盤研究(C) (一般)	18K00528	歌ことばの効果的可視化技術と通時的言語変化記述に関する基礎研究
2014年度 ~ 2018年度	基盤研究(C) (一般)	26370530	和歌用語シソーラスの開発と用語空間記述に関する基礎研究



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000030241756>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。